

平成29年度 事務事業マネジメントシート

事業名	水防事業			会計	款	項	目	大	小
				01	09	01	04	02	02
政策	01	1節 整備・開発と自然環境のバランスがとれた流山（都市基盤の整備）		主管課	河川課				
施策	2-3	自然災害・都市災害への備えと予防		主管課長	中西 辰夫				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	流山市民	意図	水防活動を円滑に行えるよう体制の確立と訓練を行い、水害から市民を守る。
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・隔年で松戸市と連合水防団を組織し水防演習を行う。 ・水防用土のうと資機材を備蓄する。 ・緊急豪雨の際の水防体制の確立。 			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> ・隔年で松戸市と東葛中部地区連合水防団水防演習を実施している。 ・平成27年度の水防法改正をうけ、流山市水防計画の見直しを行った。 ・水防法改正により下水道管理者が水防活動に協力することが義務付けられた。 ・国、都県、沿川市区長で利根川と江戸川に流域全体で減災に取り組む協議会が組織された。 			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成27年度	平成28年度	平成29年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
		①	水防訓練回数	0	1	1	回	→→
②	水防業務委託回数	4	5	7	回	→→	実績値	
③								
④								
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） <ul style="list-style-type: none"> ・水防に係る業務委託については、予測不可能であるため、予備費を充当している。 ・3月にゲリラ豪雨対策として水害対策業務委託を行った。 ・平成30年度は本市が水防演習開催市となるため事前準備を行った。 	
事務事業のコスト		平成27年度	平成28年度	平成29年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)		3,316,880	3,747,435	4,871,471				
事業費(b)(円)		2,714,480	3,198,235	4,334,511				
うち一般財源		2,714,480	3,198,235	4,334,511				
職員給与と費(c)(円)		602,400	549,200	536,960				
人役・職員(人)		0.08	0.08	0.08				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H29)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・若手、新規配属職員への水防教育を行う。 ・水防団が着用するライフジャケットを備蓄する。 	③取組の課題	<ul style="list-style-type: none"> ・市外在任職員が増加していることから初動人員を着実に確保する。 ・松戸市と連携しライフジャケットを備蓄していく。
②今年度(H29)に実施した取組	<ul style="list-style-type: none"> ・若手、新規配属職員への水防教育を実施した。 ・ライフジャケットを消防1団に付き2枚ずつ配布した。 	④今後(H30以降)の改善計画	<ul style="list-style-type: none"> ・水防について着実に教育していく。 ・要配慮者施設への確実な避難情報伝達を行う。